

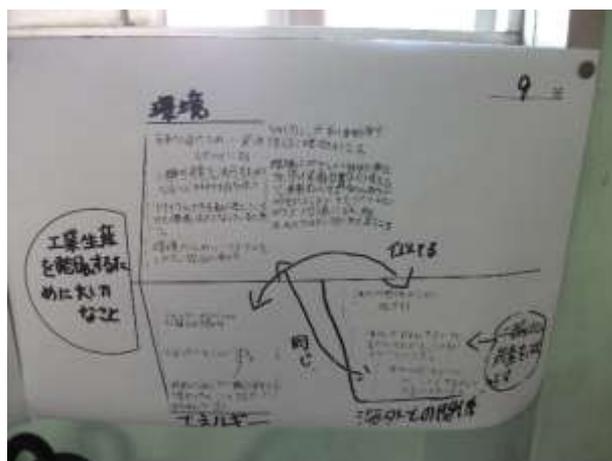
春日部市立牛島小学校

社会

単元名「わたしたちの生活と工業生産」第5学年



【映像資料の効果的な活用】



【話し合い活動の積み重ねがわかる掲示物】

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】

- 課題解決を図るための工夫（教材研究や環境整備、学びへと向かう児童の主体性）など多くのことを学ぶことができた。
- 子供たちが安心して発言できる学級の雰囲気よかった。「子供同士の結びつきの強さ」のバランスが素晴らしかった。
- 児童の疑問を受けた課題設定やフィッシュボーン図の活用など、初めて知ったことを今後、活用していきたい。
- 教科のねらいに合わせて、様々な思考ツールを使ってみようと思った。早速、フィッシュボーン図にも挑戦してみたい。
- 社会科はどうしても教え込みになりがちで、深い学びにならないことがあった。思考ツールを用いた授業は新鮮でとても参考になった。
- 今、5年生を担当していて、思考ツールの活用や話し合いのさせ方などがとても参考になった。今後の授業に活かしたい。

顔を见合うことのできる授業隊型



付箋を活用した話し合い



- 映像資料の使い方や課題設定の仕方、思考ツールの活用など、すぐに授業に活かせる工夫をたくさん知ることができた。
- 成果も課題も含め、生きた授業の中で見ることで学びが深まった。提案性のある貴重な授業で、現場の実践に生きる内容だった。
- 中学校の教員なので、中学校とのつながりを考えさせられる授業だった。中学校で不足しがちな話し合い活動について、とても参考になった。

【協議について】

- 社会科のねらいから指導法についてまで、他校の先生方と話すよい機会となった。今日学んだことを明日からの授業に活かしていきたい。
- よりよい授業の姿を考える中で、具体的・実践的な話し合いができた。自分自身の視野が広がったと感じることができた。
- 資料準備の重要性を感じた。そして、資料をもとに必要感のある課題をいかに設定するかを今後の授業づくりで意識していきたい。
- 自分になかった視点から協議し、各校の授業実践や現状など、様々な情報を得ることができ、とても勉強になった。
- 中学校の先生と協議することで、自分の考えていた授業の進め方や考え方との違いに気づき、教師としての視野を広げることができたと感じた。
- 色々な先生方と協議する中で、話し合いをさせるには、子供たちにどんな課題をもたせるかが大切だと改めて感じた。
- 良いと思っていた方策が、他の視点から見ると改善点や他の方策もあることに気づいた。協議を通して、授業の難しさと面白さを再認識できた。
- 思考を深める手立てがたくさん協議に挙がり、「自分ならこうする！」という意見が出れば出るほど、何回も授業を見るくらいの学びになった。
- 他市や他校種の先生方、特に社会科に専門性のある先生方と意見交換する貴重な機会となった。
- 建設的な意見が多く出ていて、今後の学習計画を立てる際の参考になった。自分と異なる視点からのアプローチに触れ、よい刺激を受けることができた。

思考ツールを活用した考えの整理



ワークショップ型の研究協議



授業分析表

